

法人（事業所）理念	①)こどもの発達にきなる保護者の思いをしっかりと受け止め、これからどのような子育てをしていくのかを共に考えていく。 ②)法人の有する実績により、幼児期から成人期まで我が子と向き合い希望を持って育てていきたい具体的アドバイスを行うと共に、こども一人ひとりの将来を見据えた療育を行う。						
支援方針	身の回りのことができない、言葉が出てこない、友達と上手に関われない、そんなお子さん一人ひとりに合わせ、発達段階を見極めながら遊びの場を広げ、人との関わりやコミュニケーションの基礎を身に付ける。また、様々な体験を通して幼児期に必要な社会性などの獲得を目指して支援を行っていきます。 ・やりがい！気持ちを大切にします。 ・苦手なことも、ちょっとだけがんばる気持ちで育てます。 ・できた！という達成感をともに喜び、信頼関係を築きます。 ・遊びの中で楽しさを共有し、人とかかわる力を育みます。						
営業時間	8時	30分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
健康・生活	<ADL訓練>それぞれの発達に合わせて、食事・排泄・着脱などの自立をめざします。日々の療育場面にて、継続的に個別支援を行います。 手洗い／歯磨き／うがいがい／衣服をたたむ など 「<食事>スプーン・箸の使い方・食事中のマナーや食べ方、好き嫌いなく食べるなど、楽しい食事ができることに取り組めます。」 「<トイレトレーニング>年齢や発達段階に合わせて、ステップアップを考えて取り組みます。」 「<寝替え>ひとりでも着脱できるようにボタンやファスナーの操作・体の使い方を繰り返し行いながら、やる気を促します。」 「日常生活動作訓練」>日常の生活の中で自立やお手伝いに繋がるような動作を確認します。 雑巾がけ／雑巾絞り／テーブル拭き／トレーで遊ぶ／お茶をつく／ほうろく・ちりとり等の使い方／洗濯干し など ・日々の健康管理に気を付け、健康観察ノートを利用して体調や生活リズムの確認、検温、熱中症や感染症などと季節ごとに対応となる疾患に対して、適切にこども達の状態に対応できるように支援する。						
運動・感覚	・子どもの発達に一番大切な「からだづくり」。体力・筋力・持久力・柔軟性は、心の発達にも大きく影響します。年齢に合わせた「からだづくり」をしっかりと行うことで、自信に満ちた子ども達の表情を引き出します。 「<粗大運動>それぞれの身体機能の発達に見合った筋力・柔軟性・平衡性・持久力を養い、身体をコントロールする力を高めます。」 「<走・跳・投・蹴>ジャンプ／ボール運動／スクーターボード／マット運動 など」 「<手つなぎ歩行訓練>他者と手をつなぎ一定時間・距離を歩き続けることで、続ける力・身体をコントロールする力・人を意識し合わせる力を養います。」 二人組歩行（大人と・子ども同士）／一列 など ・じっと座ってられない・姿勢が悪い・不器用・物や人に対して力加減がわからない・子どもの声や大きな音が苦手・俯みかけや爪切りが強い…など生活に適応するために必要な能力を身につけるためや発達の土台となる課題です。揺れる・回転する・触れる…など様々な感覚器官に働きかけ、調整する力などコントロールできるようになります。 「各感覚教具（ハンモックなど）／ボディイメージの形成・情動の安定を促します。」 「各感覚教具（ハンモックなど）／ボディイメージの形成・情動の安定を促します。」 「<感覚課題>見る・触れる・揺れる・回転など、様々な刺激を感じ取る経験を通して、姿勢・運動・眼球運動のコントロール、ボディイメージの形成・心身ともにリラックスする経験をします。」 歩く／四つ這い／ワニ這い／バタ足／浮く／すべり台 など 「<微細運動>様々な教具を使用し、手指の感覚を育て目・両手の協調性を高めます。獲得した動作を日常の場面で活用します。」 入れる／はめる／押し込む／開ける／はさむ／通す／シール貼り／はさみ／色塗り／線かき など 「<うごきづくり>合図やカウントに合わせて様々な基本的な動きを模倣することで、ボディイメージを育て身体を意図的に動かすコントロールする力を養います。」 四つ這い／膝立ち／オットセイ／トンネル／片足立ち など 「<くるトレ（くるーがトレーニング）>音楽と集団の力を活用し、楽しみながら集団活動の基礎となる力（見る・聞く・模倣・自発的行動）を養います。」 歩く／走る／スキップ／四つ這い／ゆり／ゆき／手つき歩き／静止 など 「<行動トレーニング（静：じっとする練習）>一定時間集中し、同じ姿勢や行動を持続し続ける力を育てます。「静」と「動」の課題をバランスよく設定します。」 「静」：寝る／立位／正座／イス座位 など 「動」：スクワット／踏み台昇降／イス腕立て など 「<リズム運動>音楽リズムに合わせて、運動の発達段階を踏まえた動きを全身・手指・足指を使い行うことで身体と脳の発達を促進します。」 金魚／両生類のようなハイハイ／どんぐり／おうま／めだか／とんぼ／うさぎ／かめ／こま など						
本人支援	・物事を理解する・考えるといったことの原点は「見続ける」「聞き続ける」ことが大切です。一定時間、静かに座って見たり・聞いたりできるようになると、人との関わりも柔軟になり集中力も増して認知力や言語力が上がってきます。 「<みるトレ>視覚優位性を利用し、教材をテープボムで提示することで、一定時間の持続・注視を促します。また、自発性を育て集団参加への意欲を高めます。」 「<認知課題>学習の正しい姿勢づくりや人とのやりとりを重視し、言語認知発達を促すプログラムに取り組みます。」 各視点教材（パネルシアター・ペーパーサートなど）／人間教材（ダンスなど） など 「<目と手の協応>目から取り入れた情報に対して、手を使って適切に処理することを課題として行います。」 鉛字習字／別紙／フロッピー／模写／書き／鉛字／空間認知／音読指導／記憶 など 「<製作活動>手や指先・道具の正しい使い方を身に付けます。様々な手法でイメージを広げることや春夏秋冬のテーマで取り組むことで季節感を感じます。」 玉落し／ローリング／ボール／宝探し／ガチャ／運路／ロケット／ロープウェイ など 「<動作模倣>身体全体を使った動きや指などの細かい動き、身体の部分をタッチするポインティング、左右の手で違う動きを行うなど、見る力・模倣する力を養います。」 手遊び／体操 など 「<行動模倣>同一の道具を使用し、いくつかの動作パターンで示された美観を見て正確に模倣することで、注意深く見続ける力や行動を切り替え模倣する力を養います。」 平均台①上を渡る ②くぐる ③跨いで渡る など						
認知・行動							
言語コミュニケーション	<CSSB訓練>噛む（chew）ことで咀嚼力の発達、飲む（swallow）・吸う（suck）・吹く（blow）ことで呼吸をコントロールし発話器官の発達を促します。 「<すすめる（飲む）／かばえびせん（取り込み）／ストローで飲む／シャボン玉／ラッパ／チョコナメ（舌の動き） など」 「<探索・操作>「何だろう」「触ってみよう」と思わせる手作り教材を活用し、引き・入れる・開ける・出す・探知するなど手指の操作性を高めます。」 玉落し／ローリング／ボール／宝探し／ガチャ／運路／ロケット／ロープウェイ など 「<音楽あそび>音・音楽を通し、視覚・聴覚・動きのコントロール力・協調性を高めます。また、自由に表現することを楽しむ中で情緒を見放さず心身の安定を図ります。」 鍵盤・強弱合わせ／リズムマシン／楽器演奏 など 「<ADL訓練><認知課題><集団あそび>など、様々な課題を通してやりとりを意識した取り組みを行っています。」						
人間関係社会性	・様々な活動の中から本人の苦手なことを理解しつつ、人と関わることの楽しさを知っています。また、社会の中で生きていくために必要なマナーやルールを知ることで、家庭や集団生活を楽しく行えるように促します。 自由あそびは、笑顔にお友だちとかかわりをする機会です。実体験を通して、上手に関わり方を身につけられるよう支援します。 「<集団あそび>簡単な遊びのルールを理解し守ること、役割を持ちやり遂げることを学びます。協調性や競争心を養い、集団で遊ぶことの楽しさを知る経験の場となります。」 積み木ゲーム／いなり／しっぽり／玉入れ／船がしどっちボール／だるまさんがころんだ など 「<協調課題>相手のペースに合わせることや、リードすることを経験し対人意識を高め、達成感を共有する喜びや相手を感じる気持ちや空気感を育みます。」 二人組物遊び／手つなぎ行動／二人三脚／スキー など 「<行事>様々な行事に取り組むことでこども達の成長を感じ、日々の生活に節目を作ることでリズムを与え、日常を豊かにします。」 校外活動／お花見／七夕／ハロウィン／クリスマス／節分 など						
家族支援	<親子参加日> 様々な療育に親子で取り組み、保護者の方々に療育への理解を深めて頂くことで、より良い親子関係を築けるよう支援します。（月1～2回） 歩行訓練／スキンシップ／マッサージ など ＜勉強会＞ ともい水での療育などについて、親子参加日や家庭へ取り組みのヒントとなるよう、開催しています。（年4回程度） ＜保護者懇談会＞ 保護者同士の交流や情報交換などの機会を持つよう、年2回（4月・10月）開催しています。 ・個別支援計画に関する面談を、年2～3回取り組んでいます。随時、困りごとなど子育てや家庭に関する相談をお受けしています。 ・保護者からの希望や相談に沿って、具体的な支援場面の観察や参加などを提供し、伝え方や関わり方のコツに繋がる相談援助の機会を具体的に設けていきます。 ・家庭との連携や更なる課題や困りごとを解決に導くことを目的とし、家庭訪問や事業所内での面談など相談援助の機会を設けています。			移行支援	・保護者や併用・移行先（幼稚園・こども園・保育所など・他事業所・就学先など）の希望により、相談援助や情報連携など現時点でのこどもの状況について共有していきます。 ・併用・移行先との支援方針や支援方法を担当者会議などを通して、共有・連携を図っていきます。 ・併用先での課題や困りごとについて、ともい水でも連携を図り取り組む中で、解決策やスムーズステップを重ねるなどの連携を図っていきます。 ・併用・移行先や保護者の希望により、ともい水でのこどもの様子を見学を受けることや情報提供などに取り組みます。		
地域支援・地域連携	・年に1回、保護者を交えた消防訓練を行う際に、地域の方の参加を募り参加して頂いています。 ・歩行訓練など戸外での活動の場面に、あいさつを通して地域の方に顔を見ていただき、こども達や事業所を知ってもらえる機会があります。 ・AEDを設置し、もしもの時に利用できるよう、消防訓練の復讐に於いておたよりに記載し周知しています。（道路側から見える窓付近に、AED設置ステッカーを掲示） ・ともい水前の道の通学路にあるため、トイレや給水、緊急時の駆け込み先等に活用できるよう、消防訓練の復讐に於いておたよりに記載し周知している。（道路側から見える窓付近に、子どもを守る店ステッカーを掲示）			職員の質の向上	・自治体及び社協や福祉協会、支援に関する施設などが開催する外部研修に参加。 （虐待防止・権利擁護・救命講習・支援に関する研修など） ・内部研修を実施。外部講師を招いての実施あり。 （虐待防止・身体拘束・感染症・BCP周知とシミュレーションなど） ・施設見学など、外部に赴く職員研修を実施することあり。		
主な行事等	・お花見・こどもの日・七夕・ミニ運動会・ハロウィン・クリスマス・初詣・お正月遊び・節分・ひな祭り など季節の行事プログラム ・親子で社会体験・所外活動（くらりバス・外食・スーパーなどで買い物の物 など） ・避難などの訓練（火災・地震などの災害・感染症・不審者対応など）						